

平成26年度

病害虫発生予察注意報(第1号)

平成26年5月30日
神奈川県農業技術センター

病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）

作物名：ナシ、カキ、キウイフルーツ、ウメ 等

1 発生地域：県下全域

2 発生量：多

3 発生時期：6月～8月

4 注意報発令の根拠

- (1) チャバネアオカメムシの落葉内の越冬量調査では、湯河原町では26.5頭/200葉（平年8.9頭）であり過去10年間では2012年に次いで多い。
- (2) ミカンの花への飛来調査では、チャバネアオカメムシは5.1頭/10枝（平年2.8頭/10枝）で、激発した2006年、2012年に次いで多く（図1）、ツヤアオカメムシは0.9頭/10枝（平年0.3頭/10枝）で2006年に次いで多い。
- (3) フェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数は、伊勢原が5月第4半旬から急増している（図2）。
- (4) 県予察ほ（根府川）の予察灯への誘殺数は、5月第3半旬から急増している（図3）。
- (5) 本年は越冬世代が多いため、餌となるスギ・ヒノキの球果等の不足に伴い、ナシ、カキ、キウイフルーツ、ウメ等の果樹で被害が多くなると予想される。

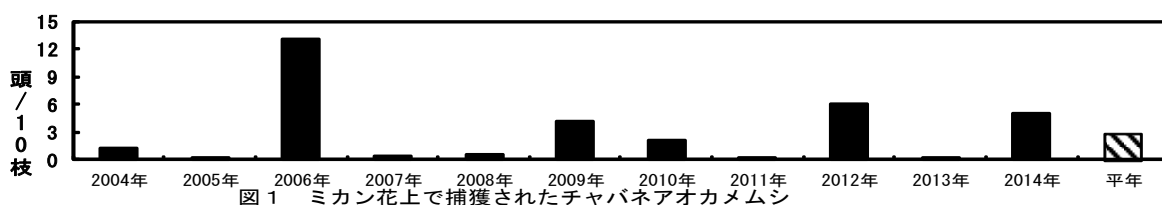


図1 ミカン花上で捕獲されたチャバネアオカメムシ

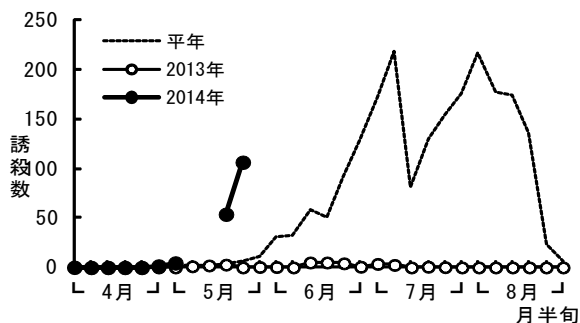


図2 チャバネアオカメムシ フェロモントラップ(伊勢原)
注：2014年5月2,3半旬は強風により欠調

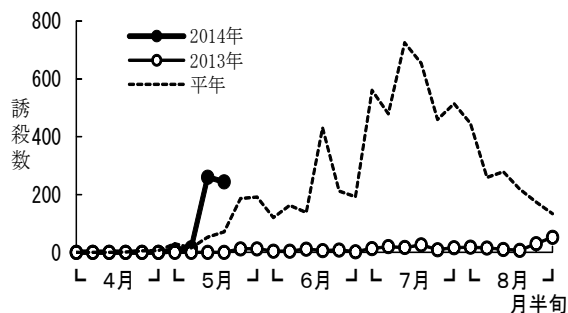


図3 チャバネアオカメムシ 予察灯(根府川)

5 防除対策

- (1) 園によって飛来状況が異なるので、園内外を注意深く見回り、発生を認めたら直ちに防除を行う。
- (2) チャバネアオカメムシには黄色防蛾灯が有効とされている。
- (3) 防除薬剤（平成26年度県病害虫雑草防除指導指針等による）
- (4) 農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し使用基準を遵守する。

薬剤名	系統	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	希釈倍数
ナシ				
アクタラ顆粒水溶剤	ネ	前日	3回	2000倍
アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤	ネ	前日	3回	2000倍
ダントツ水溶剤	ネ	前日	3回	2000～4000倍
バリアード顆粒水和剤	ネ	前日	3回	2000倍
アグロスリン水和剤	ピ	前日	3回	1000～2000倍
スカウトフロアブル	ピ	前日	5回	1500倍
テルスターフロアブル	ピ	前日	2回	3000～6000倍
マブリックEW	ピ	30日	2回	2000倍
ロディー水和剤	ピ	前日	2回	1000倍
パーマチオン水和剤	ピ+リ	30日	5回	1000～2000倍
カキ				
アクタラ顆粒水溶剤	ネ	3日	3回	2000倍
アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤	ネ	前日	3回	2000倍
ダントツ水溶剤	ネ	7日	3回	2000～4000倍
モスピラン水溶剤	ネ	前日	3回	2000～4000倍
キラップフロアブル	フ	7日	2回	2000倍
スミチオン水和剤40	リ	45日	3回	800～1000倍
アグロスリン水和剤	ピ	前日	3回	1000～2000倍
テルスターフロアブル	ピ	3日	2回	3000～6000倍
キウイフルーツ				
アドマイヤーフロアブル	ネ	前日	2回	2000倍
アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤	ネ	前日	3回	1000～2000倍
アディオン乳剤	ピ	7日	5回	2000倍
ウメ				
アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤	ネ	前日	3回	2000倍
スカウトフロアブル	ピ	前日	3回	2000倍
テルスターフロアブル	ピ	前日	2回	3000倍

注)「系統」欄の記号は次を意味する。ネ:ネオニコチノイド系,
フ:フェニルピラゾール系,リ:有機リン系,ピ:合成ピレスロイド系,

神奈川県農業技術センター
病害虫防除部
〒259-1204 平塚市上吉沢1617
TEL 0463-58-0333
FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/>